

みずほCustomer Desk Report 2025/06/24 号(As of 2025/06/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	146.50
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.21	1.1505	168.13	1.3437	0.6446
SYD-NY High	148.01	1.1581	169.68	1.3531	0.6463
SYD-NY Low	146.00	1.1452	167.52	1.3373	0.6373
NY 5:00 PM	146.13	1.1578	169.25	1.3527	0.6460
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,581.78	374.96	日本2年債	0.7300%	0.0100%
NASDAQ	19,630.98	183.57	日本10年債	1.4000%	0.0100%
S&P	6,025.17	57.33	米国2年債	3.8623%	▲0.0413%
日経平均	38,354.09	▲ 49.14	米国5年債	3.9091%	▲0.0500%
TOPIX	2,761.18	▲ 10.08	米国10年債	4.3407%	▲0.0355%
シゴ日経先物	38,695.00	290	独10年債	2.5050%	▲0.0080%
ロンドンFT	8,758.04	▲ 16.61	英10年債	4.4895%	▲0.0465%
DAX	23,269.01	▲ 81.54	豪10年債	4.2150%	0.0110%
ハンセン指数	23,689.13	158.65	USDJPY 1M Vol	9.91%	0.61%
上海総合	3,381.58	21.69	USDJPY 3M Vol	10.25%	0.12%
NY金	3,395.00	9.30	USDJPY 6M Vol	10.29%	0.10%
WTI	67.27	▲ 6.57	USDJPY 1M 25RR	▲1.27%	Yen Call Over
CRB指数	305.05	▲ 7.48	EURJPY 3M Vol	8.73%	0.01%
ドルインデックス	98.42	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	9.25%	0.15%

東京	週末に米国がイランを攻撃した事で朝方からドル買いが進み一時146.83まで上昇。買いが一巡するなか東京時間のドル円は146.21レベルでオープン。その後もイランの報復攻撃の可能性から中東情勢の緊迫化が高まった事や、原油価格の高止まりもありじり高の展開となった。約1ヶ月ぶりに147円台に到達しても、ドル買いの勢いは止まらず結局147.39レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ドル円は147.39レベルでオープン。週末の米国による攻撃に対し、イランが報復を表明したことで、ドルはG10通貨の大半に対しで強含みとなった。市場は、イランが世界の石油・ガス供給の大動脈であるホルムス海峡を封鎖するかどうかに注目している。ドル円は一時148.01の高値をつけた後、147.60レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、午前中に発表された米6月サービス業PMIが予想を上回るも、パウマンFRB副議長の「インフレ圧力が抑制されたままであれば、次回の会合での利下げを支持する」との発言を受け、米金利の低下に伴った売りが優勢となり、146.30付近まで下落。午後もドル売りの流れが続き、ドル円は146円ちょうど付近まで値を下げる場面も見られたが、イランがカタールの米軍基地に対して限定的ではあるが報復攻撃を行ったことなどをを受けて下げ渋り、146.13レベルでクロス。一方、ユーロドルは先述のパウマンFRB副議長のハト派発言を受け、ドル売り地合いから1.1550付近まで上伸。午後は米金利が低水準で推移する展開を背景に1.1582まで続伸し、その後1.1578レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・山田

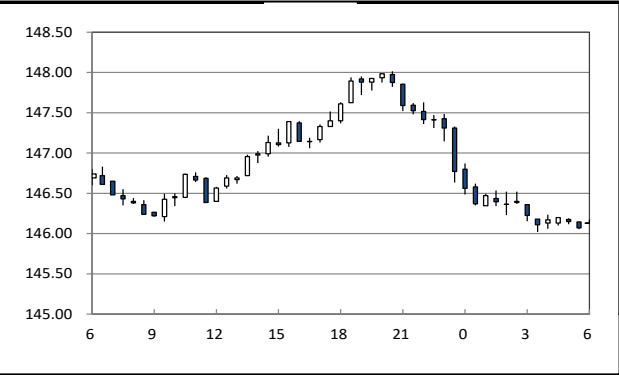
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月23日	16:30	独 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	6月 49.0/49.4/50.4	49.0/47.8/49.1
	17:00	欧 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	6月 49.4/50.0/50.2	49.7/50.0/50.4
	22:45	米 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	6月 52.0/53.1/52.8	51.0/53.0/52.2
	23:00	米 ポウマンECB理事 講演	「インフレ圧力が抑制されたままであれば、次回会合での利下げを支持する」	
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 4.03m	3.95m

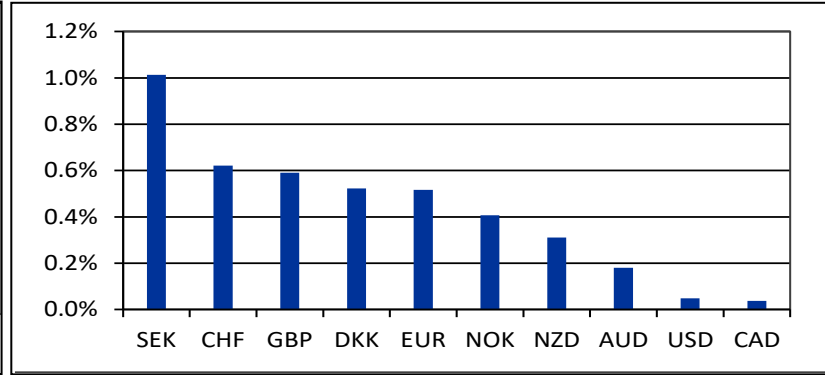
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月24日	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	6月 88.0/86.5/89.9	87.5/86.1/88.9
	21:30	加 CPI(前年比)	5月 1.7%	1.7%
	21:30	加 CPI	5月 164.2	163.4
	23:00	米 パウエルFRB議長 議会証言	-	-
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	6月 99.8	98.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.20-146.50	1.1480-1.1650	168.50-170.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、上値を確認後、急落する値動きとなった。中東情勢緊迫化による有事のドル買いで、ドル/円は148円台に乗せたものの、米国のイラン核施設に対するイランの報復は限定的になるとの見方が強まると、売り戻される展開に。タカ派として知られるFRBのパウマン副議長が利下げに前向きな発言をしたことも重しとなり、146円台前半まで下落して引けている。本日のドル/円は軟調な展開を予想する。トランプ米大統領がイスラエルとイランの暫定的な停戦を発表との報道でリスクオフが後退、東京時間早朝からドル売りの流れとなっている。また、ここ数日は数人のメンバーが利下げに関する発言を行っており、FRBはハト派に傾斜している様子。中東情勢悪化への懸念後退とFRBの緩和期待を背景に、ドル/円は下値を模索する展開か。

担当:大熊・山田